

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火-2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(音楽理論) Language and Art (Music theory)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 教育学部音楽棟2階 2番教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 三上次郎 /Eメールアドレス:mikami@nagasaki-u.ac.jp /研究室:音楽棟3階 306 /TEL:819-2344 /オフィスアワー:金2校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 楽譜に関する基本的な知識を理解する。特に基本的な音楽理論について理解を深める。  授業方法: 音名、音程、調性、和音の基本事項の説明に、問題解答の演習を加える。  授業到達目標: 楽典の基本問題が解答することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要)  音名は日本音名とドイツ音名を主に取り扱う。調性は調の判定を含む。それぞれの演習課題にとりくみ、理解を深める。  第1回音楽理論について 第2回音名について1 第3回譜表の話 第4回音程1(基本音程) 第5回音程2(増減を含む音程) 第6回音程3(問題の解答練習) 第7回調性について 第8回楽譜から読み取る調性について(カデンツの構造) 第9回調性判断の問題とその解答方法 第10回和音について(三和音) 第11回和音について(7の和音) 第12回和声学の世界1 第13回和声学の世界2 第14回 コードネームについて 第15回 全授業の総括(試験を含む)			
キーワード	音楽、音楽理論、和声学、楽典		
教科書・教材・参考書	基本的にプリントを配布 参考書としては 「楽典」理論と実習 石桁真礼生ほか著 音楽之友社をもっておくのが望ましい		
成績評価の方法・基準等	出席 50% 各時間に行う演習への取組 30% 総括試験 20%		
受講要件(履修条件)	音楽棟2番で行うので、36名に限定する。第1回目の講義において登録を行い、席を確保してほしい。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			